

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第44週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 587 人 (定点あたり 18.7) で、前週比 111%と増加した。

前週に比べ増加した疾患は水痘と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

水痘の報告数は 58 人 (1.6) で前週比 157%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値 (1.2) の約 1.3 倍である。延岡 (2.8) ・宮崎市 (2.4) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

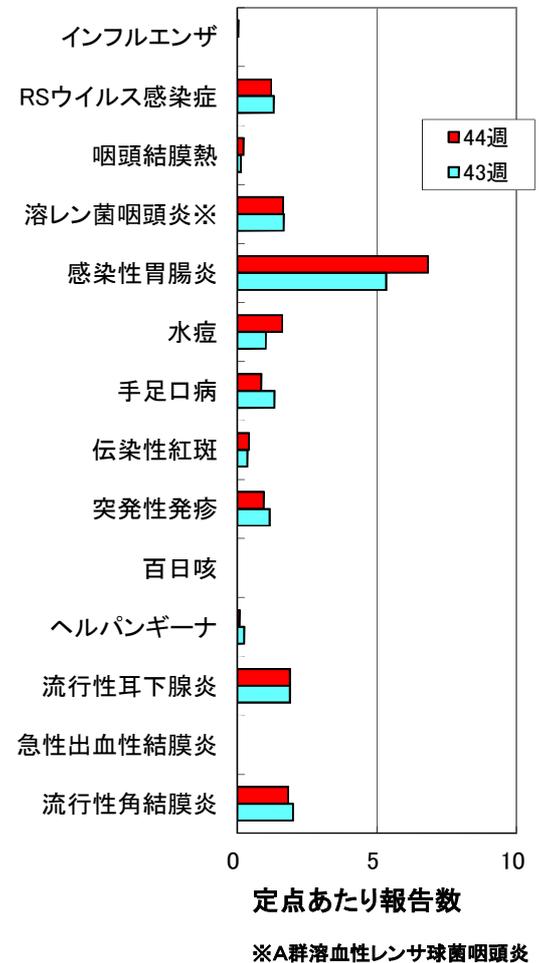
感染性胃腸炎の報告数は 246 人 (6.8) で前週比 128%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値 (10.2) の約 7 割である。小林 (15.0) ・都城 (10.7) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約半数を占めた。

マイコプラズマ肺炎 8 人が延岡 (4 人) 、都城 (2 人) 、宮崎市 ・日南 (各 1 人) 保健所から報告された。年齢別報告数を【表】に示す。病原体はすべて *Mycoplasma pneumoniae* であった。

【表】マイコプラズマ肺炎の年齢別報告数(人)

3歳	7歳	10歳代	20歳代
1	3	3	1

《前週との比較》



□ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

流行警報開始基準値を超えた疾患はなかった。

■ 全数把握対象疾患

1 類感染症 : 報告なし。

2 類感染症 : 結核 3 例が宮崎市 (2 例) 、高鍋 (1 例) 保健所から報告された。

《宮崎市保健所》・70 歳代の男性でその他の結核 (結核性腹膜炎) 。発熱、腹痛、腹部膨満がみられた。

・80 歳代の男性で肺結核。痰、発熱、呼吸困難がみられた。

《高鍋保健所》・40 歳代の女性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。

3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 3 例が、高鍋 (2 例) 、宮崎市 (1 例) 保健所から報告された。

《宮崎市保健所》・14 歳の男子で腹痛、水様性下痢、血便、血尿がみられた。原因菌の血清型は O111 (VT1、VT2 産生) 。

- 《高鍋保健所》 ・60歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌の血清型はO157（VT2産生）。
 ・70歳代の男性で水様性下痢、発熱がみられた。原因菌の血清型はO157（VT産生）。
 4類感染症：○レプトスピラ症1例が小林保健所から報告された。30歳代の男性で発熱、結膜充血、咽頭痛、鼻閉がみられた。
 5類感染症：○ウイルス性肝炎（B型）1例が宮崎市保健所から報告された。10歳代の男性で全身倦怠感、嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸がみられた。
 ○後天性免疫不全症候群1例が延岡保健所から報告された。30歳代の男性で無症候性キャリア。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ 細菌（平成23年10月25日～平成23年11月7日までに検出）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管病原性大腸菌(O86a:HNM aggR)	0～4	男	2011.10.14	EPEC疑	便	2011.10.21
腸管出血性大腸菌(O115:H10 VT1)	40代前半	女	不明		便	2011.10.27
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	80代前半	男	2011.10.13		血液	2011.10.26
腸管出血性大腸菌(O157:HNM VT2)	60代前半	女	2011.10.26	無症状	便	2011.11.2
腸管出血性大腸菌(O111:HNM VT1,2)	10代前半	男	2011.10.31	EHEC疑	便	2011.11.7

○ 無症状保菌者からO157:HNM VT2、EHEC疑いの患者からO111:HNM VT1,2がそれぞれ分離された。一般的に鞭毛抗原(H抗原)を表記する場合、HNMあるいはHUTと表記されることがある。HNMのNMはnon-motileの略で、運動性が確認されなかった場合に、またHUTのUTはuntypableの略で運動性は確認されるが血清型別出来なかった場合に表記される。

□ ウイルス（平成23年10月25日～平成23年11月7日までに検出）

報告なし。

■ 全国第43週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は10.8で、前週比101%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎とヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は10,044人(3.2)で、前週比108%と増加した。山口県(8.3)、愛媛県(6.7)、大分県(6.6)からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は3,735人(1.2)で、前週比108%と増加した。北海道(2.6)、大分県(2.3)、福井県(2.0)からの報告が多く、年齢別では4歳から7歳で全体の約半数を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1類感染症：報告なし。
 2類感染症：結核347例
 3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢8例、腸管出血性大腸菌感染症37例、パラチフス1例
 4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎2例、オウム病1例、つつが虫病8例、デング熱1例、日本紅斑熱3例、日本脳炎1例、マラリア3例、レジオネラ症14例、
 5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、後天性免疫不全症候群20例、梅毒19例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症4例、麻しん2例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第44週(10月31日～11月06日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		2				1					1
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	47	44	9	3	8	1		13		10	
	定点あたり	1.31	1.22	0.90	0.50	2.00	0.33	0.00	3.25	0.00	2.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	5	8	1	2	2	1		1		1	
	定点あたり	0.14	0.22	0.10	0.33	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	59	12	8	18	4	3	10		1	3
	定点あたり	1.67	1.64	1.20	1.33	4.50	1.33	1.00	2.50	0.00	0.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	192	246	54	64	12	13	45	17	5	36	
	定点あたり	5.33	6.83	5.40	10.67	3.00	4.33	15.00	4.25	5.00	9.00	0.00
水痘	報告数	37	58	24	9	11	6	4	4			
	定点あたり	1.03	1.61	2.40	1.50	2.75	2.00	1.33	1.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	48	31	4	23		1	1	2			
	定点あたり	1.33	0.86	0.40	3.83	0.00	0.33	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	13	15	3	2	4	1				5	
	定点あたり	0.36	0.42	0.30	0.33	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
突発性発しん	報告数	42	34	13	7	3	1	3	4		2	1
	定点あたり	1.17	0.94	1.30	1.17	0.75	0.33	1.00	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	3	1		1					1	
	定点あたり	0.25	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	68	68	32	11	3	6	4	2	2	7	1
	定点あたり	1.89	1.89	3.20	1.83	0.75	2.00	1.33	0.50	2.00	1.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	11	6	4	1						
	定点あたり	2.00	1.83	2.00	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	8	1	2	4	1					
	定点あたり	0.43	1.14	1.00	2.00	4.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～44週)

2類感染症	結核	231例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	59例(3)				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	2例
	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	1例	レプトスピラ症	6例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	5例(1)	急性脳炎	5例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	12例(1)
	梅毒	8例	破傷風	8例	風しん	1例
	麻しん	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～44週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲